



ひとりで悩まないで。相談先はあります。

「DVや性暴力を受けた」「生活が苦しい」など、悩みを抱える人を支援してくれる相談窓口を、国やNPOなどが設置しています。

相談機関	内容	連絡先
性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(内閣府)	警察への同行支援、弁護士紹介等の法的支援など	全国共通番号 #8891(はやくワンストップ) 最寄りのワンストップ支援センターにつながります。
性暴力に関するSNS相談「Cure time」(内閣府)	チャットで専門相談員が対応	キュアタイム https://curetime.jp/
性犯罪被害相談電話	性暴力等の警察相談窓口	#8103(ハートさん) 番号にダイヤルすると発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談電話につながります。
警察相談専用電話(警察)	犯罪被害の未然防止に関する相談等、各種相談に対応	#9110 発信場所を管轄する都道府県警察の本部総合窓口につながります。

掛川市の相談窓口はこちら▶

ゆめこらぼ



男性の育児休業制度、知ってますか？

育児休業取得率



資料：厚生労働省「雇用均等基本調査」

男性の方、このような経験はありませんか？

- 毎日残業が多く、仕事と生活のバランスが取りにくい。
 - 育児休業取得を言い出しにくい職場の雰囲気があった。
- 性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制など働き方の見直しによって、男性も地域や家庭へ参画しやすい環境の見直しがされています。

育児休業制度に加え、2022年10月1日より、「産後パパ育児休業制度」が創設されました。男女とも、育児休業を取る事が当たり前の時代になっています。



育休について
知りたいこと
アンケート!

CLICK!

静岡県パートナーシップ宣言制度がスタートしました

誰もが理解し合える共生社会の実現を目指し、「ジェンダー平等と性の多様性を認め合う環境づくり」に向けた具体的な取り組みの一つとして、令和5年3月1日から「静岡県パートナーシップ宣言制度」がスタートしました。お互いを人生のパートナーとして認め合った二人が協力して共同生活を行うことを宣誓し、県がその宣誓書を受領したことを証明する制度です。

本制度は、法律上の婚姻とは異なり、法的な効力(相続、税金の控除等)が生じるものではありませんが、婚姻が認められていない同

性カップルや、様々な事情により婚姻の届出をしない、あるいはできないカップルの気持ちを尊重し、カップルが抱える生きづらさや困りごとが少しでも解消され、誰もが人生のパートナーとして安心して暮らせる環境づくりを目指すものです。

詳しくは、静岡県ホームページをご確認ください。
掛川市で利用可能な行政サービス等についても掲載をしています。



私たち、掛川市男女共同参画推進委員です！



性別にかかわらず、誰もが活き活きと暮らすことができるまちづくりを目指し令和5年5月から、掛川市男女共同参画推進委員として6名のメンバーで活動しています。

情報提供や講座への参加の働きかけなど、市民のみならずとのパイプ役となれるよう頑張っていきます！

活動に興味のある方は、掛川市企画政策課 (TEL:0537-21-1208) までご連絡ください。

過去の男女共同参画情報誌「ゆめこらぼ」は市ホームページをご覧ください。



「ダイバーシティ」って、知っていますか？



「ダイバーシティ (DE&I)」とは

ダイバーシティ
(Diversity)
多様性

エクイティ
(Equity)
公平性

インクルージョン
(Inclusion)
受容・包括

掛川市のダイバーシティ

その実現のために

DE&Iが最も重要

目指す姿

- 「未来に向けてチャレンジできるまち」
- 「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」

持続可能なまちであり続けるために…

全ての人に安心して選ばれ、全ての人々が地域・社会のあらゆる活動に自律的に参画し、自分らしく個性や能力を十分に発揮できることが必須。

掛川市に関わる全ての人にとって
DE&Iが当たり前のこととなるために必要なこと

- 興味・関心を持ち、考え、理解を深める
 - 身近なテーマとして自分事化する
 - 一人ひとりのWell-Being[®]や、まちづくりのベースとなる
- ※ウェルビーイング(well-being)とは、誰もが心身ともに安全に安心して自分らしく生活できることです。

「アンコンシャス・バイアス」ってご存知ですか？

アンコンシャス・バイアス(英語:Unconscious Bias)は、私たちが無意識のうちに持つ「先入観」や「偏見」です。これは、性別、人種、外見などに関連する固定観念であり、私たちの日常的な判断や行動に影響を与えます。

例えば、性別に関するアンコンシャス・バイアスでは、「男性なら定年まで働くのは当たり前」「女性なら家事をして当然」といった固定観念が存在します。これらの偏見は、男女の役割やキャリアに対する期待に影響を及ぼし、職場や社会における性別平等の障壁となります。

また、ある文化や地域出身の人に対する固定観念により、その人の能力や性格を一方向的に決めつけてしまう場合もあります。

このような無意識の偏見は日常生活のあらゆる場面で見られ、個人の機会や成長を制限し、社会全体の多様性と公平性を損なう原因となります。アンコンシャス・バイアスについて知り、意識的に克服することで、より公平で包摂的な社会を築くことにつながります。

モヤッと体験談を募集しました!

男女共同参画週間に併せて「性別に関するモヤッと体験談」を募集したところ、30件以上の体験談を集めることができました。ご協力ありがとうございました。

■モヤッと体験談の紹介

- 男の子が産めたら一人前の母親になれると言われてモヤッと。
- お茶出しは女性、という雰囲気モヤッと。
- 男なのに女みたいな名前だねと言われてモヤッと。

■生成AI(ChatGPT)にきいてみた!

アンコンシャス・バイアスは、その人の過去の経験や知識などから無意識に生まれてしまいます。そのため、アンコンシャス・バイアスに気付いてもらうための伝え方や対策が難しいです。そこで、人間ではないChatGPTを活用したらよりフラットな答えが出てくるのではないかと考え、使ってみました。人に言われると「そんなこと言われても」と思う事でも、ChatGPTの回答だと思えば、なんとなく受け入れられる気がします。ChatGPTからの提案は、すべてが正しいとは限りませんが、客観的で有効なひとつのアドバイスとして受け取ることができました。私たち一人ひとりが少しでもアンコンシャス・バイアスを意識することが大切です。今日からほんの少しでも自分事として意識してみてください。

無意識の偏見に気付こう 6月23日～29日は 男女共同参画週間

一人ひとりの個性と能力を発揮できる『男女共同参画社会』を実現するためには、みなさんの取り組みが必要となります。誰にでも無意識の偏見や思い込みがあることに気づき、自分や周りを振り返る機会とすることで、誰もが住みやすいまちにしていきたいと思います。

無くそう 思い込み、守ろう 個性
みんなでつくる、
みんなの未来。



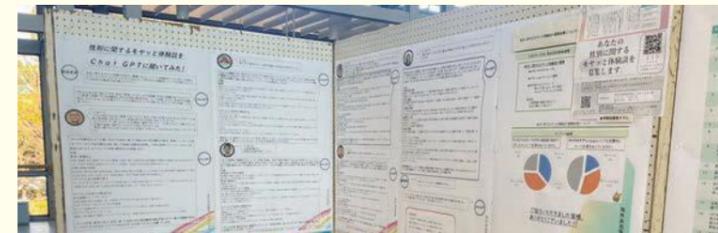
市内の高校に通う戸塚俊作さんが考えた作品が、令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズに選ばれました。

【男女共同参画推進委員企画の紹介】



6月15日～7月7日「ゆめこらぼ展」

市役所2階テラスで過去の男女共同参画情報誌「ゆめこらぼ」の1～14号の展示、今年度の推進委員の紹介を行いました。また、身の回りにある無意識の偏見や思い込みに気づき、自分事として考えるきっかけのひとつとしてもらうことを目的に「性別に関することモヤッとしたことのある体験談」を募集しました。



10月10日～31日 「男女共同参画×デジタル展」

毎年10月はデジタル月間です。そこで、今話題のChatGPTにモヤッと体験談に対する対策とモヤッとした気持ちの解消方法をきいてみました。そのやり取りの一部を市役所2階テラスに展示しました。



10月29日「掛川百鬼夜行」

「ダイバーシティ」の認知度アンケートを行いました。また、男女共同参画週間に募集したモヤッと体験談およびChatGPTとのやり取りの紹介、ChatGPT体験コーナーを開催しました。



パープルリボン運動

1994年アメリカで、女性に対する暴力の被害当事者によって生まれた草の根運動で、現在は国際的な運動へと広がっています。パープルリボンには、女性に対するあらゆる暴力をなくしていくことのメッセージが込められています。

11月23日「農業祭」

内閣府では、毎年11月12日から25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定めており、様々な関連行事や取り組みを行っています。推進委員でも、「女性に対する暴力根絶」のシンボルであるパープルリボンをつけた「茶のみやきんじろう」のサンバイザーをかぶって農業祭の一角で「ダイバーシティ」の認知度アンケートと男女共同参画週間に募集したモヤッと体験談紹介等を行いました。

掛川百鬼夜行と掛川農業祭のイベント参加者326名に「ダイバーシティって知っていますか？」アンケートを行いました。

アンケートの集計結果(棒グラフ) 約半数が「知らない」と回答。小学生グループで、「知らないよ」と言っている友達に「僕が教えてあげるよ」と頼ましい姿も見られました。

ダイバーシティって、知っていますか？

